

「第4回論語カルタ大会」 カルタで学ぶ論語の教え

12/9 「論語カルタ大会」が松橋小体育館で開かれ、市内の小中学生延べ155人が参加しました。

この大会は、楽しみながら道徳心や倫理観を育てることを目的に、市教委が毎年開催。この日の大会では、個人戦と団体戦があり、上の句が読まれると、参加した子どもたちは日ごろの学習の成果を発揮しようと、真剣なまなざしで札を取り合っていました。個人戦で優勝した不知火中1年の古賀音空さんは「朝と昼休みに出場者全員で練習を重ねてきた。昨年は2位だったけれど、今年は優勝できてうれしい」と笑顔で話しました。



同時に伸びる手

豊川小で文化財復旧の出前講座 地域の宝を守ろう



出土したお供え用の土器には穴があいていました

12/10 被災した文化財の復旧状況などをテーマにした出前授業が豊川小で行われ、4年生36人が文化財を守り受け継いでいくことの大切さを学びました。県教委の主催。県文化課の谷川美保子さんと坂口圭太郎さんが講師となり、熊本地震で被害を受けた阿蘇神社の復旧方法などを説明。市内の大塚台地遺跡で出土した土器の説明などもあり、先祖が残した生活の跡に触れた児童たちは興味深そうに耳を傾けていました。藤本泰心君は「阿蘇神社が復旧したら見に行きたい。地元の文化財も大切にしていきたい」と話していました。

熊本県年金受給者協会宇城支部がボランティア活動 車椅子清掃で深まる親睦

12/10・11 熊本県年金受給者協会宇城支部の会員約70人が、市内5カ所の特別養護老人ホームで車椅子清掃のボランティア活動を行いました。これは平成18年から始まったもので、今年で13回目。車椅子の座席や部品を丁寧に磨き、回転部分に注油するなどのメンテナンスも行いました。同協会の右山雄次会長は「介護施設が人手不足という話を聞いて何かできないかと思い、始めた。普段はグランドゴルフや演芸大会などで会員の親睦を深めているが、これからも続けていけるように元気に活動していきたい」と話しました。



車椅子の清掃は利用者にとっても喜ばれています

特別講演会「蒙古襲来絵詞と竹崎季長」 服部英雄くまもと文学・歴史館長による講演



最新の研究結果を交えて熱心に話す服部館長

12/9 市役所で「蒙古襲来絵詞と竹崎季長」と題した特別講演会が開催されました。これは、くまもと文学・歴史館(熊本市)で「蒙古襲来絵詞」が17年ぶりに里帰り展示されたことに合わせ、市郷土資料館でも企画展示を行った一環で共催されたもの。「蒙古襲来絵詞」の研究で知られる服部英雄館長を招いて行われた講演会に、市内外から歴史愛好家など約120人が訪れました。服部館長は「宇城市には季長が地頭として治めた歴史が、地名や墓などの形で今も残っている。ぜひ興味を持っていろんなものを見てほしい」と話しました。

「小川町健康づくり駅伝大会」 たすきでつなぐ地域のきずな

12/9 「小川町健康づくり駅伝大会」が開催され、約120人が寒空の下、激走を繰り広げました。

これは、健康づくりを通して地区の親善と明るい地域社会を築くことを目的に毎年開かれているもので、宇城市体育協会小川支部(岡本泰草会長)の主催。参加した9チームは、稲川グラウンド周辺の周回コース全12区間21.2kmをたすきをつないで競い合いました。寒い中にも、多くの応援者が集まり、沿道からは温かい声援が飛び交っていました。西海東・南海東・大野チームが2連覇し、選手たちは喜びを分かち合っていました。



声援を受け、一斉にスタート

身近に音楽を楽しむイベント「第5回私の町の音楽会」 みんなで歌えばなお楽し!



会場全体で手話なども交えて歌いました

12/9 「私の町の音楽会」がウイングまつばせで開かれ、約250人が参加しました。みんなで歌い合うことの楽しさを分かち合いたいと松橋愛唱歌教室(小田裕子代表)が主催した。松橋コーラル・グリーンなど市内のコーラスグループが、日ごろの練習で培った息の合った歌声を披露しました。ゲスト出演したハンドフルート奏者の高山大知さんの演奏もあり、観客たちは澄んだ音色に聴き入っていました。恒例の、ステージと客席という垣根を越えた全員での大合唱では、会場が一体となって童謡や唱歌などの歌を楽しみました。